

## 龍谷大学吹奏楽部



龍谷大学吹奏楽部は1968年創部。1983年に、より高い音楽性、技術を目指し、若林義人氏を中心に指導体制を充実させてきた。1986年には佐渡裕氏指揮で全日本吹奏楽コンクールに初出場。1992年に若林氏が音楽監督常任指揮者に就任。これまで全日本吹奏楽コンクールにおいて金賞11回、銀賞を10回受賞。また、全日本アンサンブルコンテストにおいては、金賞7回、銀賞3回受賞。2017年7月にはスイスで開催されたWorld Youth Music Festival(WYMF)にて日本で唯一招聘され、コンテスト最上位クラスであるトップクラス部門において第1位受賞。また、21世紀の吹奏楽“饗宴”(第4回、第7回、第10回、第13回、第16回)に出演。若林氏が監修する「ラブ・ポップ・ウィンズ」(株式会社ウィンズスコア)のCDレコーディングにも積極的に取り組み、2008年12月にはセッションレコーディングによる初のCD自主制作を行うなど、これまでに24枚のCDをリリースしている。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールでのサマーコンサートやザ・シンフォニーホールでの本格的な定期演奏会は好評を博し、人気実力共に関西を代表する全国屈指の学生バンドとして活躍している。(写真は2019年の定期演奏会の集合写真)

# 龍谷大学吹奏楽部オータムコンサート 2020

2020年11月29日(日)滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにて龍谷大学吹奏楽部オータムコンサート2020を開催しました。本公演は2020年7月5日(日)同ホールにて開催予定であった龍谷大学吹奏楽部サマーコンサート2020が新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止になり、振り替え公演としての演奏会となりました。さまざまな演奏会が中止になり、今年1年満身に活動出来ない中での演奏会であったため、例年通りの演奏会の形式を大きく変更し感染症拡大防止対策に努めました。

以下に当部で行った感染症拡大防止対策の一部を示します。



お客様には距離をとって並んでいただき、数名ずつの入場をお願いしました。

また、入場の際は必ずマスクを着用していただき1人ずつ非接触型体温計での検温を当部のスタッフが実施し、熱があるお客様の入場はお断りさせていただけるような体制をとりました。(写真の様子)

さらに、普段の演奏会で行っている差し入れの受け取り、終演後の演奏者によるお見送り、演奏者との面会も全てお断りし、出来るだけお客様と演奏者の接触を避けました。



来場されたお客様 1 人 1 人の手を、スタッフが消毒しウイルスをホール内に持ち込まないようにつきました。(写真の様子)



演奏者についても楽器を演奏するぎりぎりまでマスクの着用を徹底し、舞台上で十分な距離がとれない所に関してはパーテーションを配置して飛沫が左右の演奏者に飛ばないように工夫をしました。(写真はリハーサルの様子)



部員の控え室を、待機部屋、食事部屋、楽器演奏部屋にわけ、各部屋に上限人数を設けて、人が集まりすぎないように気をつけました。楽器演奏部屋には簡易的なパーティションを配置し、各自が使用した椅子などは各自で持参した消毒シートで消毒するという決まりを部員全員での約束事としました。(写真は楽器演奏部屋の様子)



このように様々な対策を行い、龍谷大学吹奏楽部オータムコンサート 2020 は実現しました。本公演を開催するために多くの方にご尽力いただきましたことに感謝の表します。